



親子三代にわたる ブラジルコロニア医療への貢献

森口秀幸 (Emilio Moriguchi)

リオグランデスール連邦大学医学部内科学教授

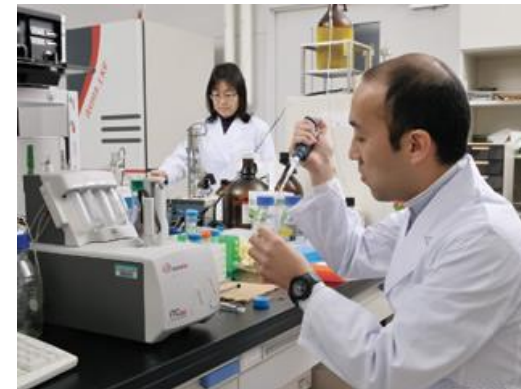
リオグランデスール連邦大学医学部付属病院 内科学部長

UNISINOS大学公衆衛生学大学院教授

横浜市立大学医学部 健康社会医学ユニット 客員教授



CIENCIA Y CARIDAD, Pablo Picasso, 1897. Museu Picasso de Barcelona.



Science & Charity

医療 & 奉仕

巡回診療の根拠





皆が健康で幸せになれるために

For everyone's Health & Happiness

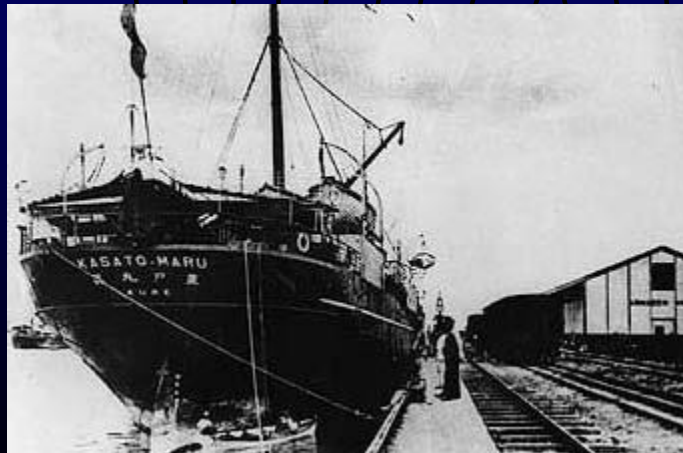


PHVC - Personal Health Value Creator

1908-2018: 日伯移民120周年

110年前に初めての日本人永住者がブラジルに到着。

神戸港を出発し、開港52日後、1908年6月18日に笠戸丸はブラジル、サントス港に到着。
日本を離れてブラジルへ永住した165家族(781人)は当時サンパウロ周辺で栄えていた
コーヒー農園にて仕事をする約束だった。



110年後、現在は1900000人を超える日系人がブラジルに
存在し、12% は1世、31% は2世、42% は3世、15% は
4-5世で、ブラジル国内で色々な分野で活躍している。

ブラジルの医療に 献身した日本人たち



風土病の予防に尽力し移民から赤ひげ先生と慕われた高岡専太郎



くまなくブラジル全土を
巡回診療した細江静男



ブラジルでも黄熱病などの
研究に業績を残した野口英世



ブラジル移民の歴史



日系人の問題



3代にわたる活動



巡回診療



シミックグループとの関わり

🌐 3代にわたる活動

山奥で生活する日系人のために、親子3代にわたって、巡回診療を行っています。

「小さな集落の住民は人間関係でどん底に嵌る事がある。健康は体だけでなく、人間関係の影響も大きい。それを助けられるのは外部の人間だけ。祖父はそうした人も助けていた」と語っています。



細江 静男 先生
1901年 - 1975年

1930年(昭和5年)、3年の任期の予定で外務省の嘱託医としてブラジルに派遣される。

当初2年ほどはサンパウロ州バストスで診療を行っていたが、アマゾン川流域の日系人開拓地の医師不足を痛感し、そのままブラジルに残る決意をする。

バストスとその周辺の無医村地帯の巡回診療にも力を注ぎ、アマゾン奥地まで治療に赴いた。

戦前から戦後にかけて、ブラジルの地域医療のためにつくし「ブラジルのシュバイツァー」「アマゾン先生」「道庵先生」と呼ばれていた。



森口 幸雄 先生
1926年 -

1957年、細江静男医師の三女と結婚。

1971年、ブラジル南部の南大河州カトリック大学に教授として招かれ2年間勤務。

1975年、同カトリック大学に老年医学研究所が設置された際、再度招かれた。

以後、老年医学の研究と後進の育成がライフワークとなった。

また、ブラジルへ渡って間もない1970年から2007年までの37年間、南日伯援護協会のブラジル南部2州（南大河州、サンタカタリーナ州）の巡回診療事業にも参加し、ブラジル日系社会にも貢献している。



森口 秀幸 先生
1958年 -

少年時代は祖父・細江静男に連れられサンパウロ近郊の巡回診療に同行した。

祖父・細江静男、父・森口幸雄の跡を継ぎ、ブラジル国内の日系人移住地で巡回診療を行っている。

専門分野は脂質代謝（HDL代謝）、動脈硬化、老年医学である。

また、森口エミリオ秀幸とも呼ばれ、芝浦スリーワンクリニックの顧問でもある。



ブラジル南部巡回診療 日本に支えられて



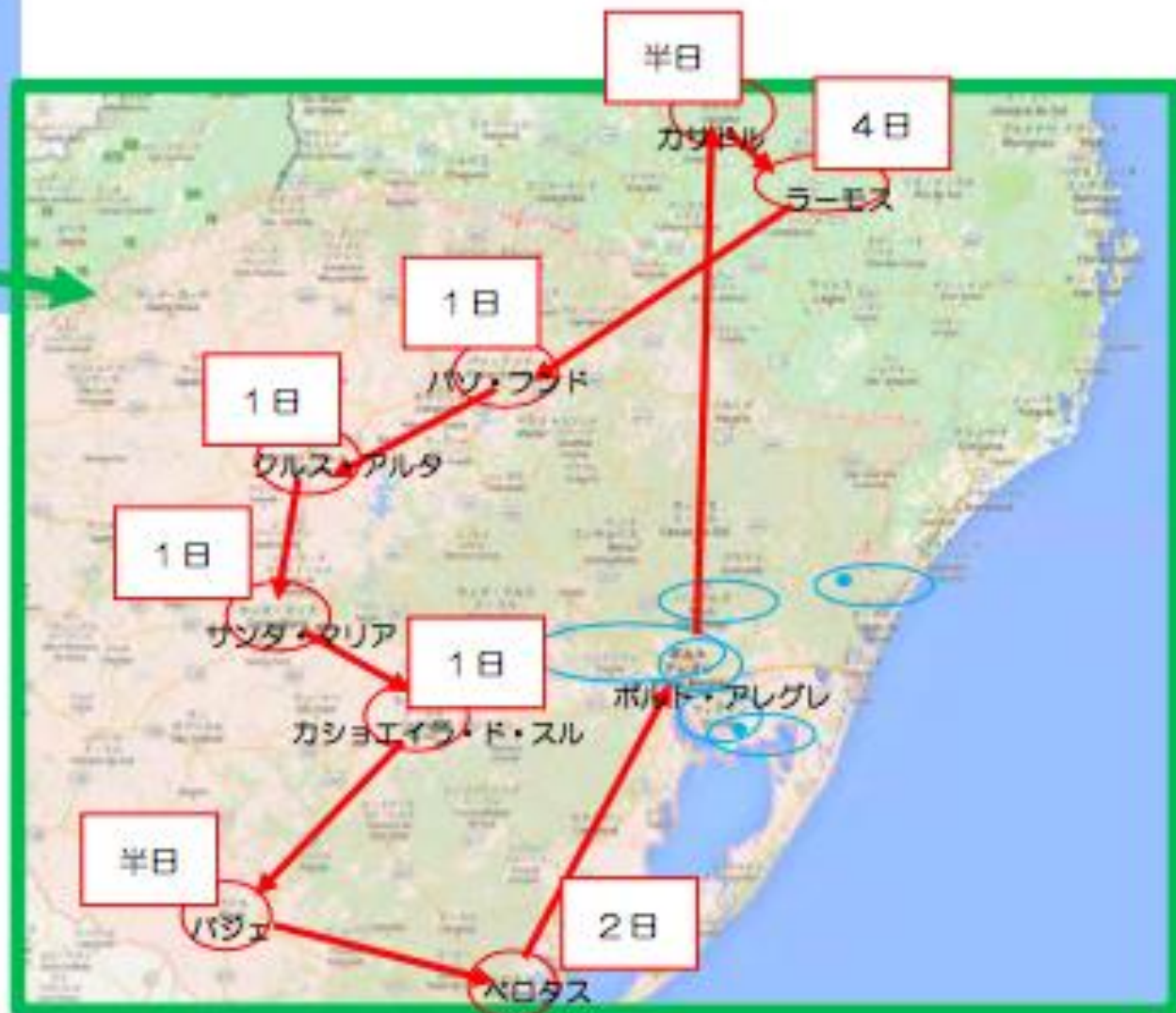
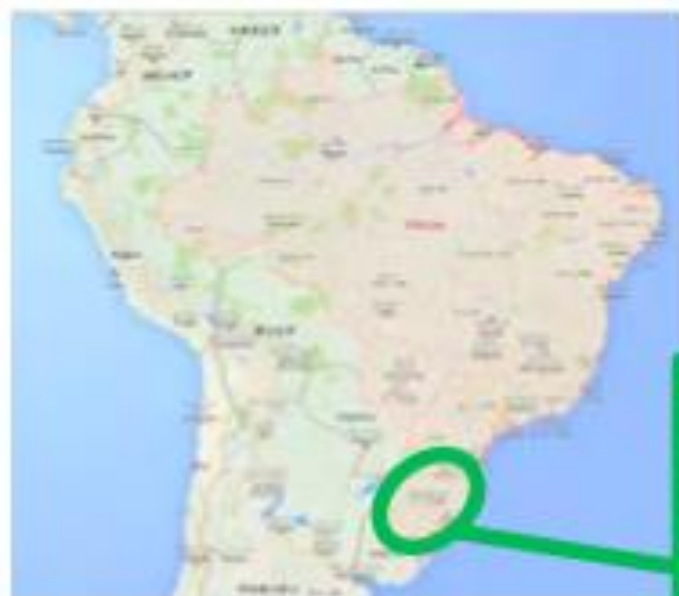


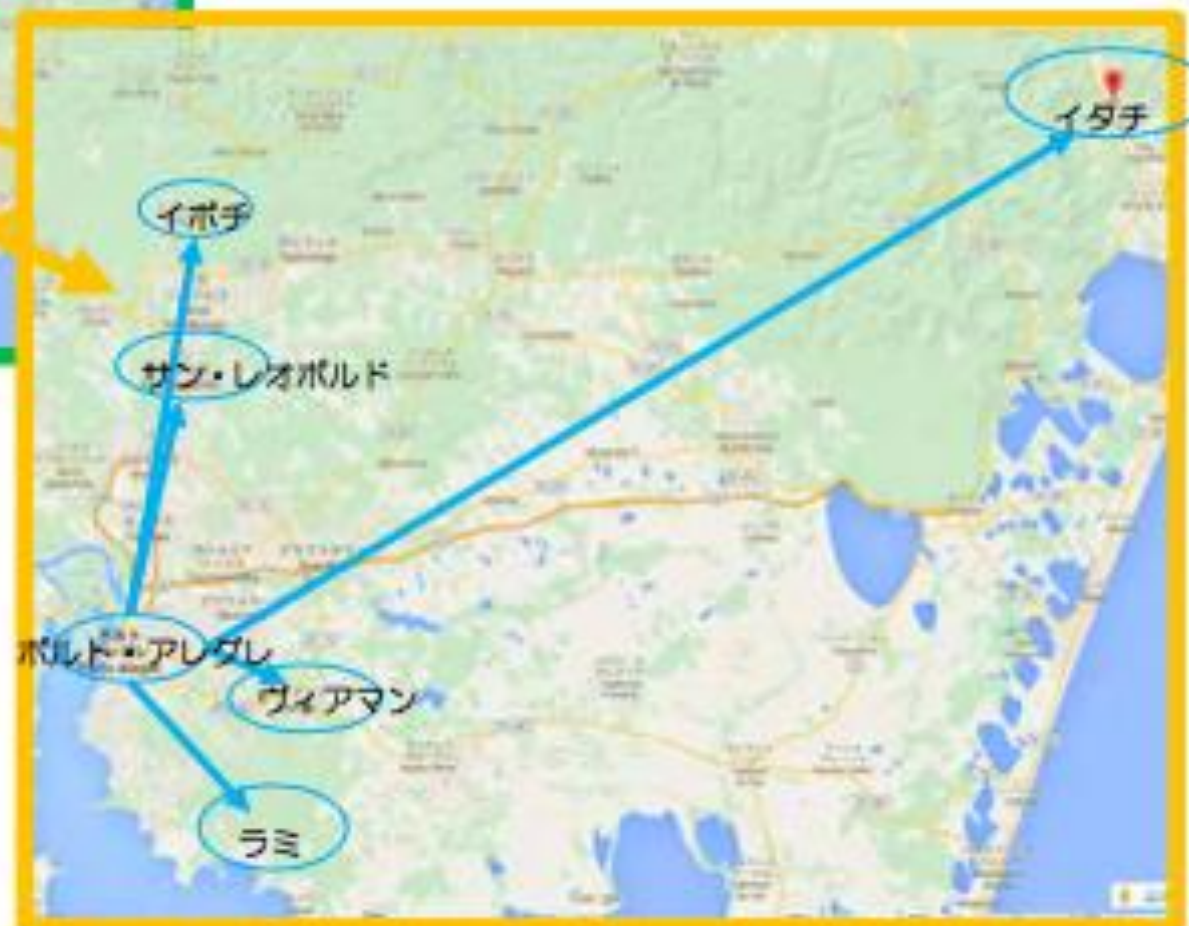
サンタ・カタリー
ナ州

リオ・グランド・ス
ル州

行程 1

10





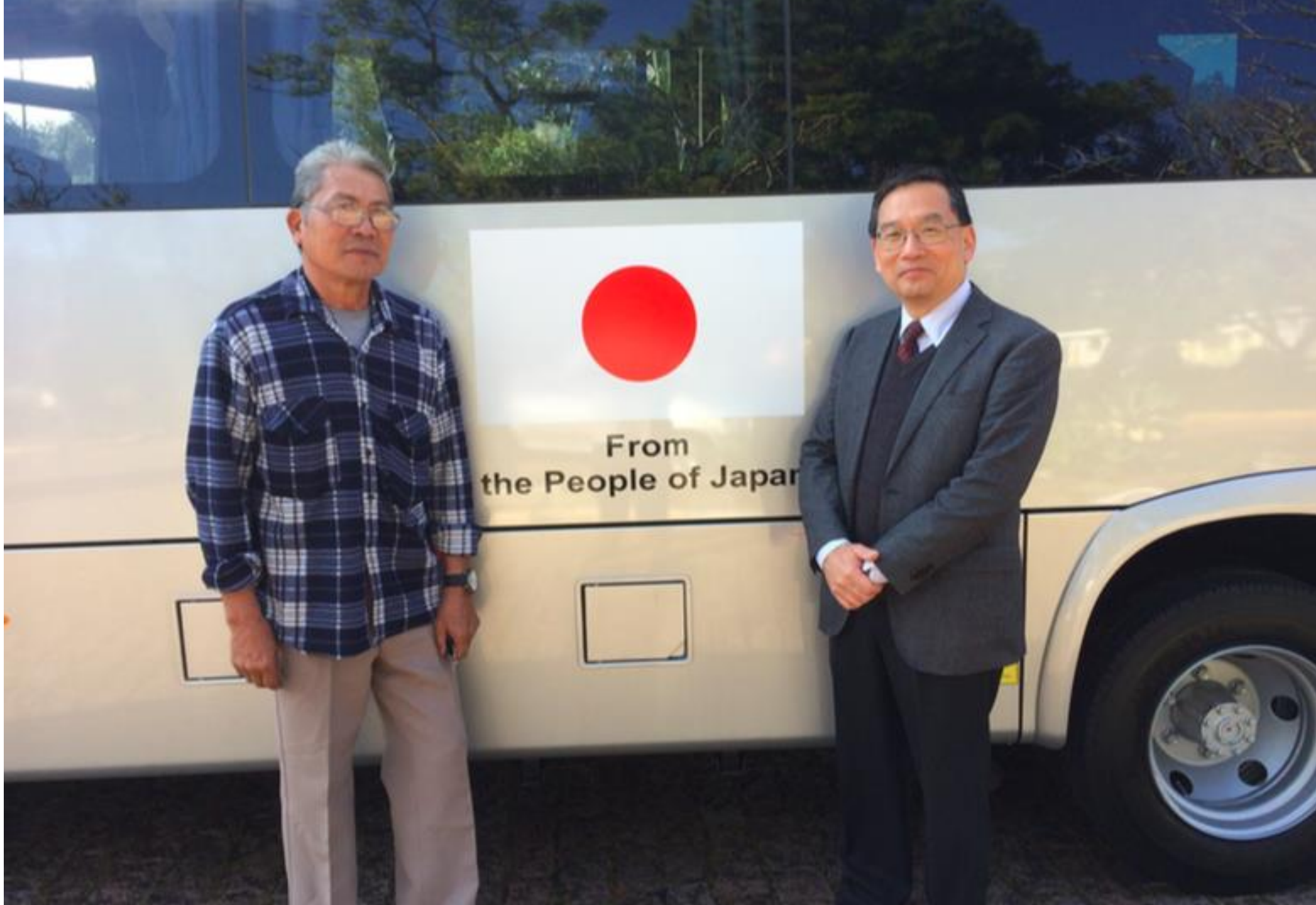
※第 2G は期間中
ポルトアレグレに滞在し、
各居住地へ日帰りで移動した。

2017 年度巡回診療の実施の日程と受診者数

日	2017 月日	訪問地	人数			
01	6月04日(日帰り)	ラミー地区 ポルト・アレグレ市 南大河州	13	12	7月30日(8泊)	サンタ・マリア市 南大河州 18
02	6月18日(日帰り)	ピアモン市 南大河州	21	13	7月31日(9泊)	カショエイラ・ド・スール市 南大河州 13
03	7月01日(日帰り)	イボチ市 南大河州	20	14	8月01日(10泊)	バジェ市 南大河州 05
04	7月02日(日帰り)	イボチ市 南大河州	15	15	8月02日(11泊)	ペロッタス市 南大河州 25
05	7月16日(日帰り)	イタチ市 南大河州	20	0	8月03日	移動(ポルトアレグレ市へ戻る) 0
0	7月23日(1泊)	移動(サンタカタリーナ州へ出発)	0	16	8月06日(日帰り)	ポルト・アレグレ市 南大河州 14
06	7月24日(2泊)	カサドール地区 サンタ・カタリーナ州	14	17	8月26日(日帰り)	サン・レオポルド市 南大河州 20
07	7月25日(3泊)	ラーモス地区 サンタ・カタリーナ州	31	18	9月07日(日帰り)	ポルト・アレグレ市 南大河州 28
08	7月26日(4泊)	ラーモス地区 サンタ・カタリーナ州	27	19	9月09日(日帰り)	イタブアン地区 ポルト・アレグレ市 南大河州 19
09	7月27日(5泊)	ラーモス地区 サンタ・カタリーナ州	08	20	9月17日(日帰り)	イタジャイ地区 サンタ・カタリーナ州 06
10	7月28日(6泊)	パソ・フンド市 南大河州	16	21	9月20日(日帰り)	ポルト・アレグレ市 南大河州 20
11	7月29日(7泊)	クルス・アルタ市 南大河州	03	22	9月23日(日帰り)	グラバタイ市 南大河州 28
						384



2017.07.01





ラモス日伯文化協会



巡回診療健診の流れ





SC州ラーモスの診療を終え、最後にお経をあげていただき慰霊祭



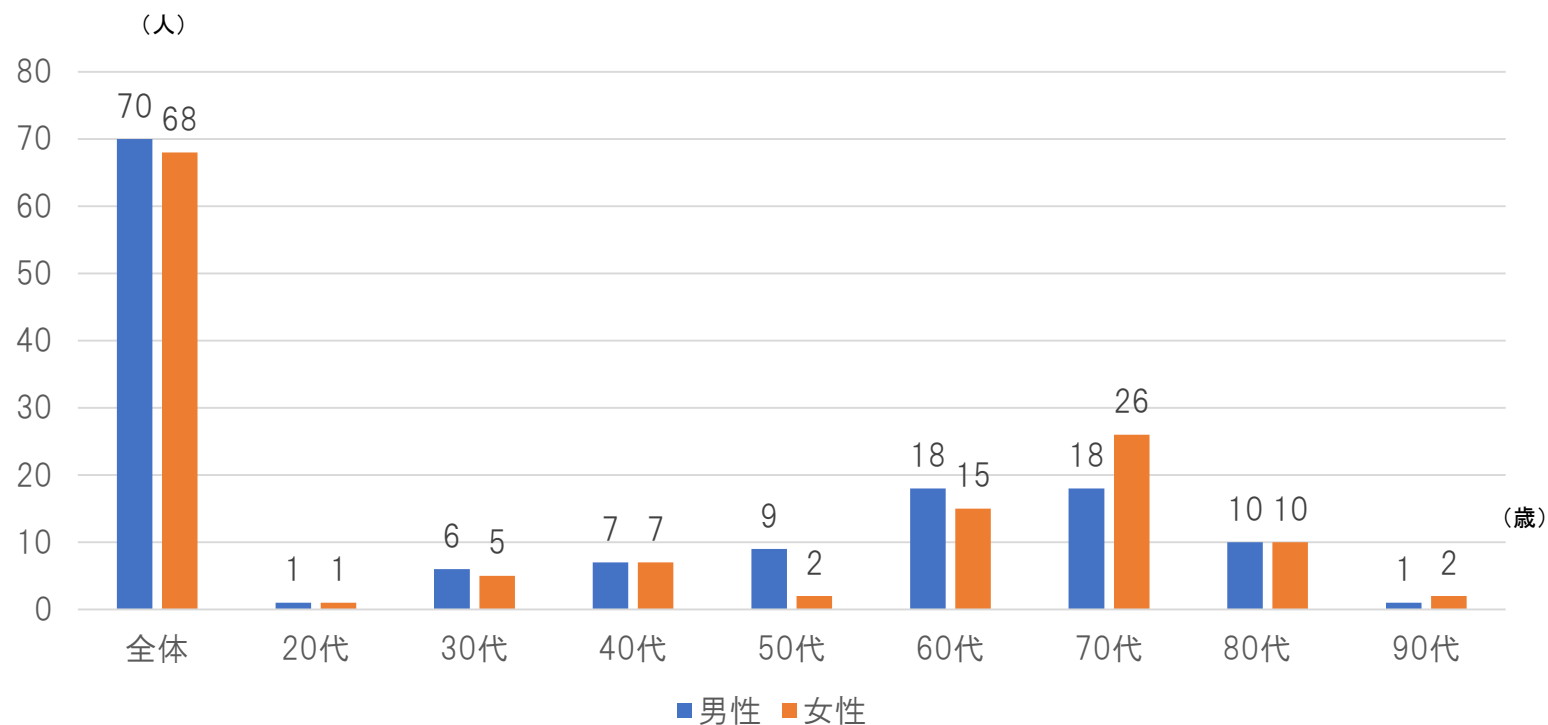


2017.07.28 15:08

一日のスケジュール(7月10日)

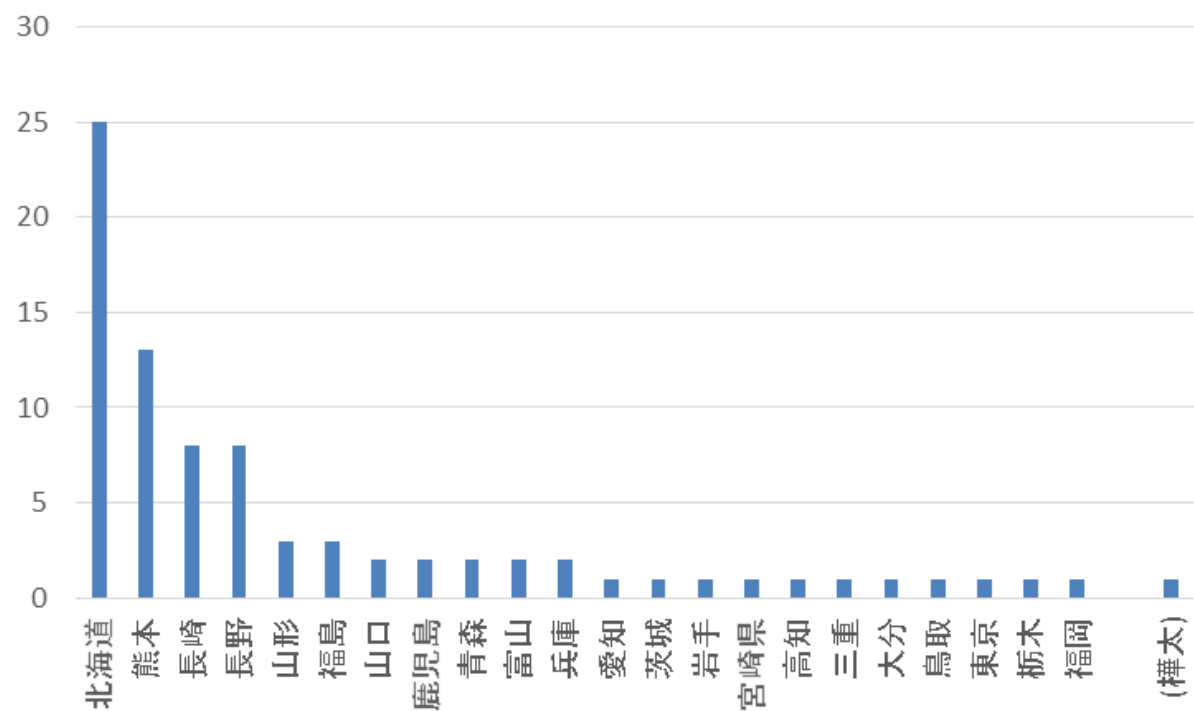
5:30	起床
6:00	移動
7:00	診察開始
16:00	診察終了
17:00	移動
19:00	診察開始
25:00	診察終了
26:00	ホテル着

対象者の性・年代別構成(n=138)



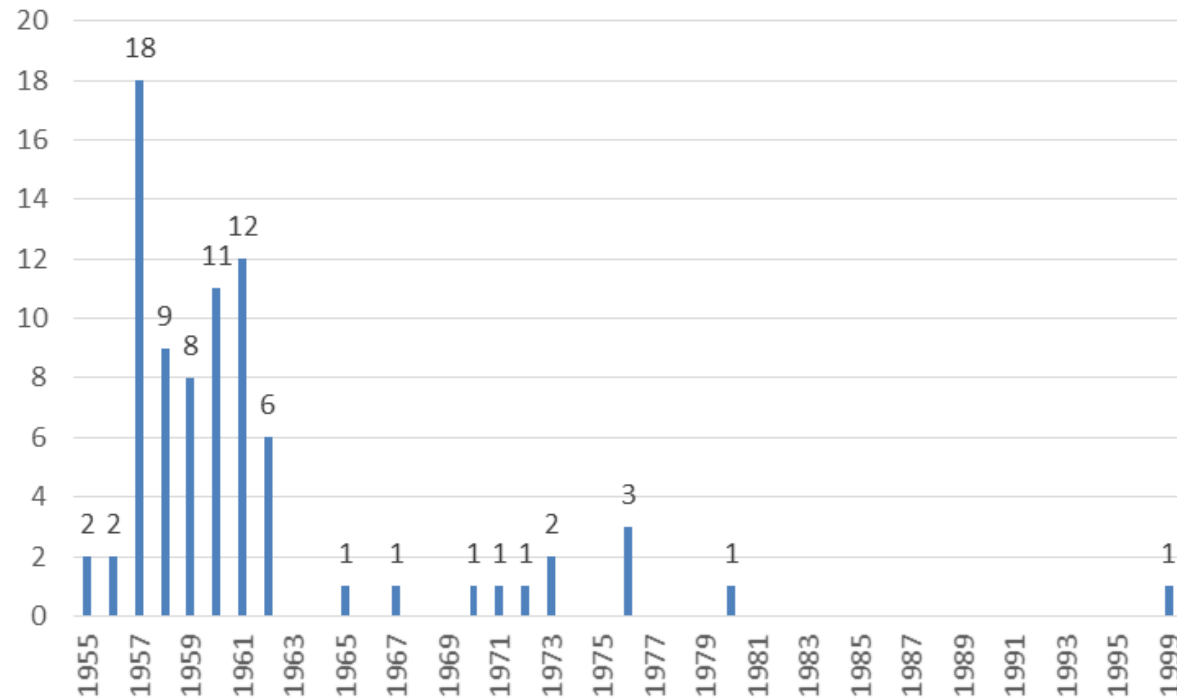
	人数	65歳以上の人数	65歳以上の割合(%)
男性	70	39	55.7%
女性	68	48	70.6%
全体	138	87	63%

出身都道府県(n=82)



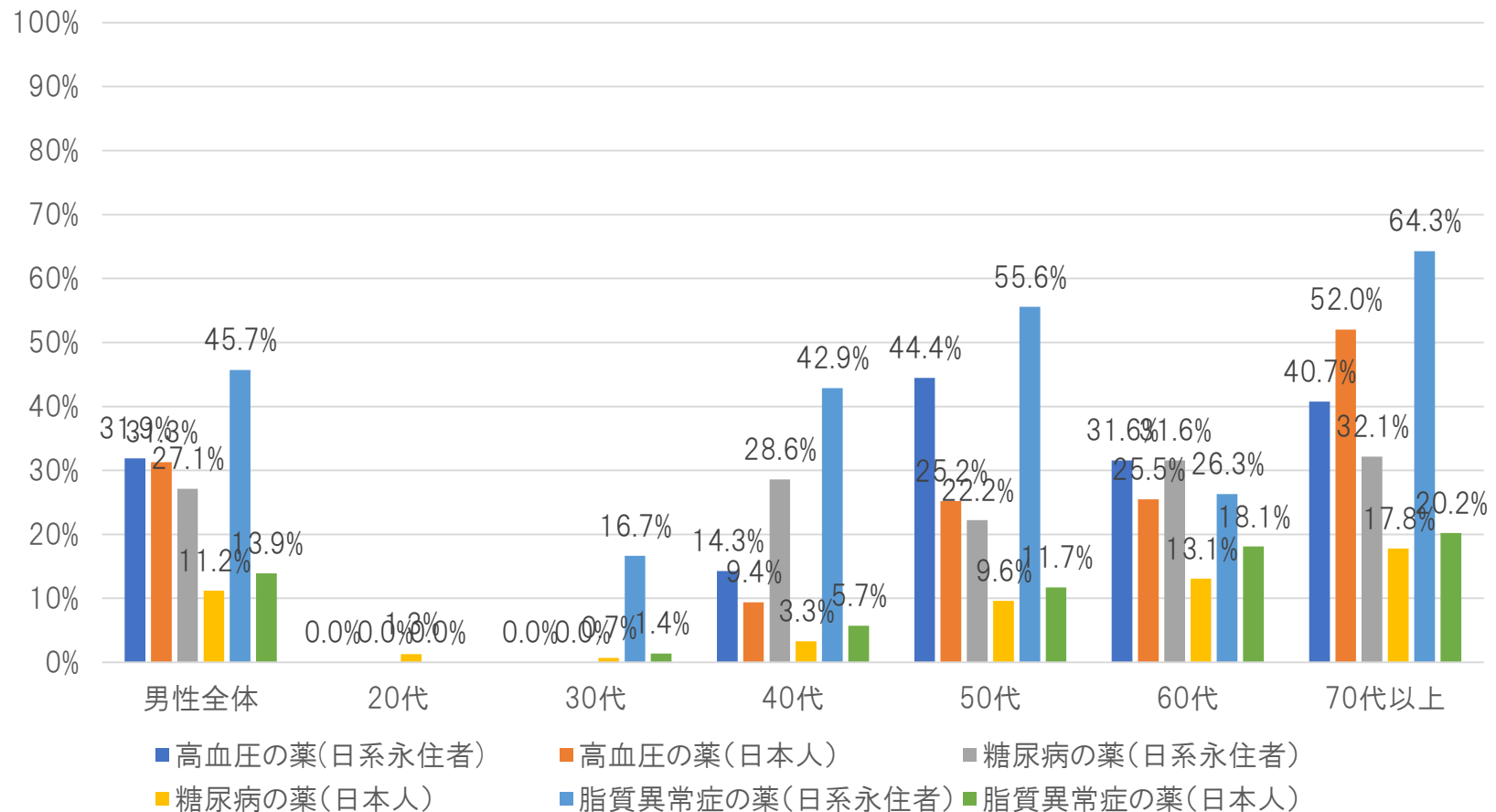
日系1世の方のみ対象

ブラジルに移住した世代(n=80)

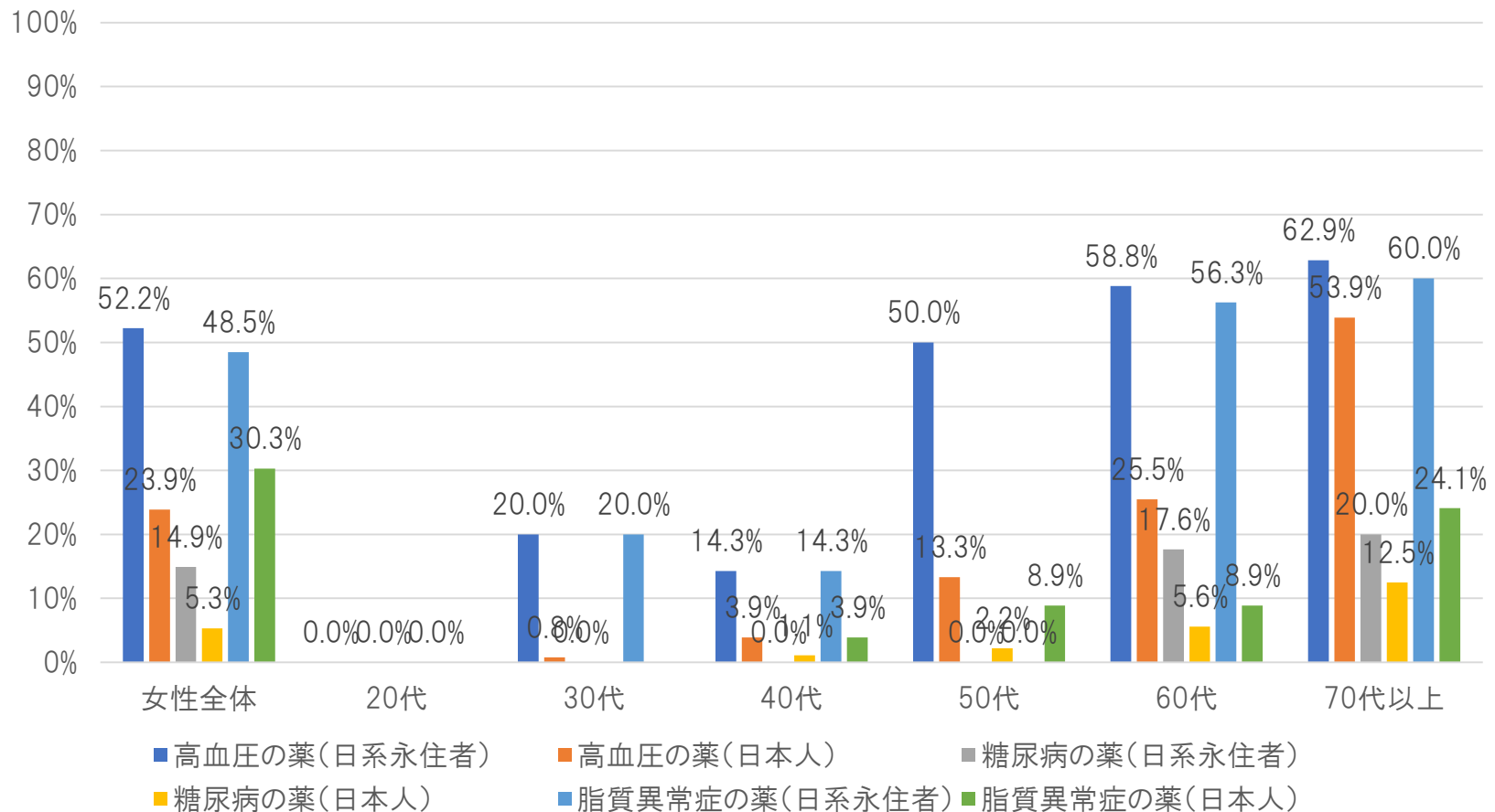


日系1世の方のみ対象

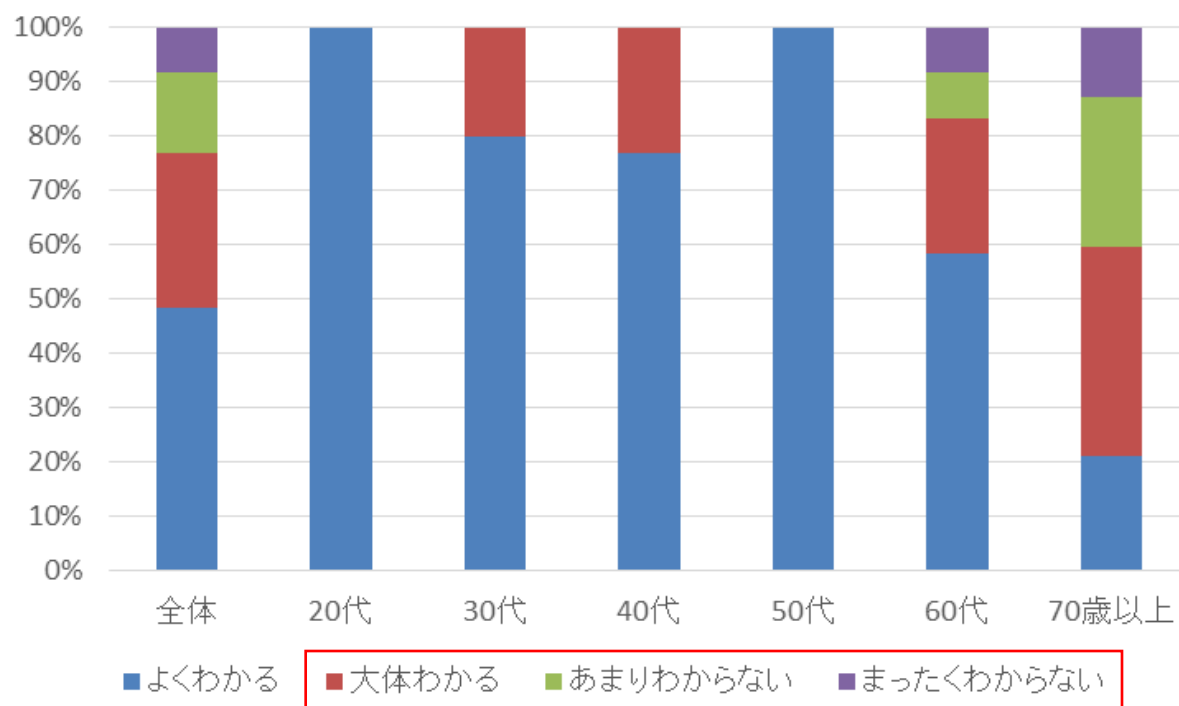
男性 服薬者の割合 (n=69,70,70)



女性 服薬者の割合 (n=67,67,66)



ポルトガル語の理解度(n=135)



「ポルトガル語で書かれたパンフレットの内容は理解できるか」に対する回答





ブラジル南部巡回診療：医療＋奉仕 皆様に支えられて、一人一人の永住者が 健康で幸せになれるように





一人一人が健康で幸せになれるように *Personal Health Care Value Creator*

